

県民意識調査 第3回女性が働くとき 報告書

(2010年3月29日～5月10日調査)

調査の設計 1

結果の概要 5

今回のポイント

質問ごとの内容

<付表> その他回答

単純集計

調査票



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

この報告書は概要部分を抜粋したものです。

より詳細な報告書(今回のポイント～ 調査票を含む)は有料にて提供しています。

I 調査の設計

調査の目的

世界的な経済不安が続き、雇用の確保が大きな課題になっているなか、女性の社会・職場進出の道すじは、かえって見えにくくなっている - 長野県世論調査協会は「女性が働くとき」をテーマに、これまで1999年、2002年の2回、県民世論調査を行い、家庭における男女の役割分担、企業や社会の条件整備など意識と制度の両面から、方向性を探ってきた。

日本の少子高齢化の進行の背景には、家庭・家族という暮らしの基盤の揺らぎ、そして若い世代からは「非婚・晩婚化」といった問いかけがある。女性自身にはライフサイクルをからめた働きがいの追求があるだろう。

第3回調査となる今回は、従来の質問を踏まえつつ「女性が働くとき」に深くかかわってくる、今後の社会のあり方をトータルに問い直す契機にしたい。

調査の設計

調査対象	長野県内に住む20歳以上の男女800人
抽出方法	層化二段無作為抽出法。対象者は各市町村の選挙人名簿から抽出
調査方法	郵送（一部ファクス・インターネット回収）
調査期間	2010年3月29日～5月10日
調査地点	19市10町6村（計35市町村）

回収結果

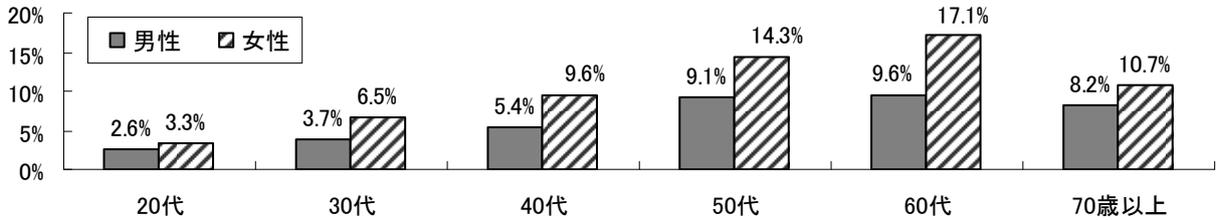
有効回収数 428人（53.5%）

<注> 報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

回収サンプルの内訳

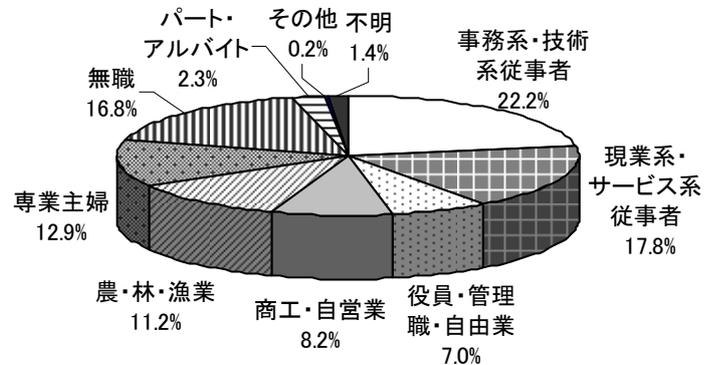
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	428	25	44	64	100	114	81
	100.0%	5.8%	10.3%	15.0%	23.4%	26.6%	18.9%
男性	165	11	16	23	39	41	35
	38.6%	2.6%	3.7%	5.4%	9.1%	9.6%	8.2%
女性	263	14	28	41	61	73	46
	61.4%	3.3%	6.5%	9.6%	14.3%	17.1%	10.7%



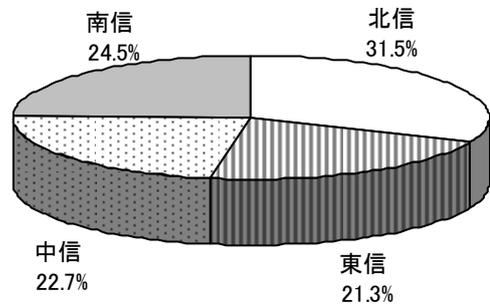
【職業】

事務系・技術系従事者	95	22.2%
現業系・サービス系従事者	76	17.8%
役員・管理職・自由業	30	7.0%
商工・自営業	35	8.2%
農・林・漁業	48	11.2%
専業主婦	55	12.9%
無職	72	16.8%
パート・アルバイト	10	2.3%
その他	1	0.2%
不明	6	1.4%



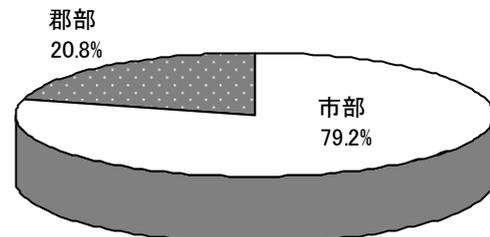
【地域】

北信	135	31.5%
東信	91	21.3%
中信	97	22.7%
南信	105	24.5%



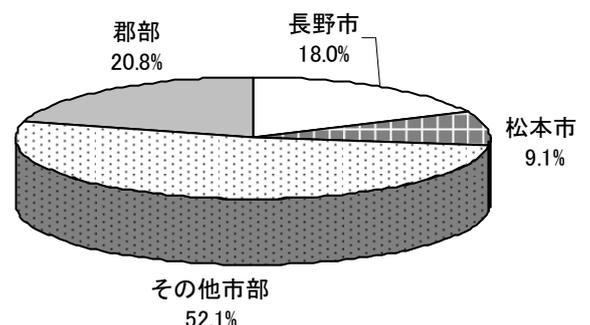
【市郡】

市部	339	79.2%
郡部	89	20.8%



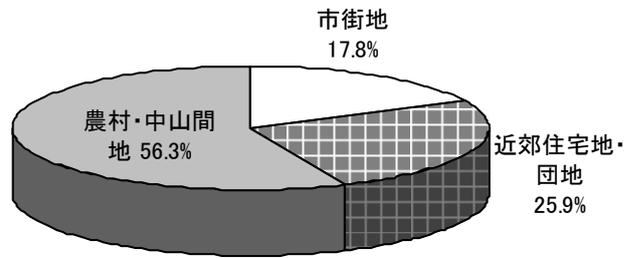
【市郡内訳】

長野市	77	18.0%
松本市	39	9.1%
その他市部	223	52.1%
郡部	89	20.8%



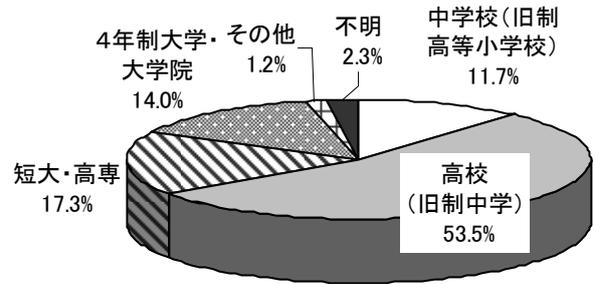
【地域性】

市街地	76	17.8%
近郊住宅地・団地	111	25.9%
農村・中山間地	241	56.3%



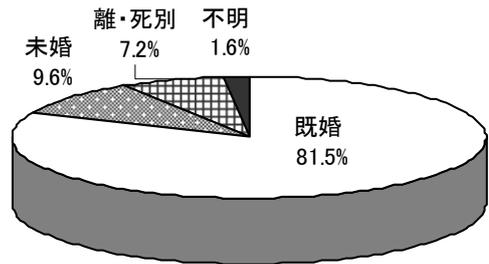
【最終学歴】

中学校(旧制高等小学校)	50	11.7%
高校(旧制中学)	229	53.5%
短大・高専	74	17.3%
4年制大学・大学院	60	14.0%
その他	5	1.2%
不明	10	2.3%



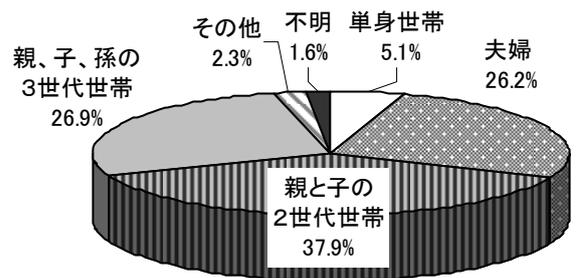
【結婚】

既婚	349	81.5%
未婚	41	9.6%
離・死別	31	7.2%
不明	7	1.6%



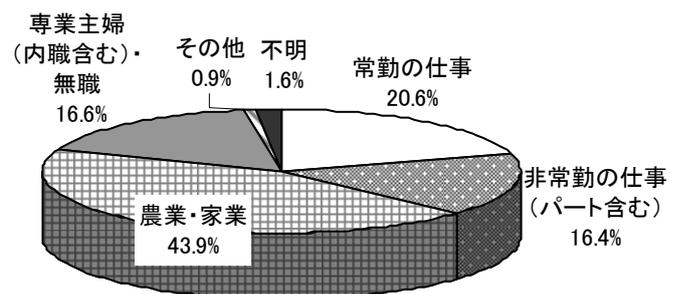
【家族構成】

単身世帯	22	5.1%
夫婦	112	26.2%
親と子の2世代世帯	162	37.9%
親、子、孫の3世代世帯	115	26.9%
その他	10	2.3%
不明	7	1.6%



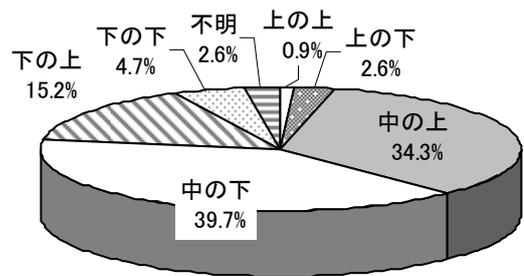
【母親が従事した仕事】

常勤の仕事	88	20.6%
非常勤の仕事(パート含む)	70	16.4%
農業・家業	188	43.9%
専業主婦(内職含む)・無職	71	16.6%
その他	4	0.9%
不明	7	1.6%



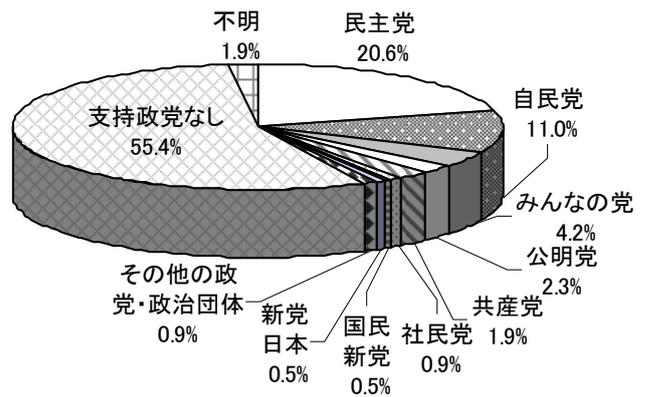
【暮らし向き】

上の上	4	0.9%
上の下	11	2.6%
中の上	147	34.3%
中の下	170	39.7%
下の上	65	15.2%
下の下	20	4.7%
不明	11	2.6%



【支持政党】

民主党	88	20.6%
自民党	47	11.0%
みんなの党	18	4.2%
公明党	10	2.3%
共産党	8	1.9%
社民党	4	0.9%
国民新党	2	0.5%
新党日本	2	0.5%
改革クラブ	-	-
その他の政党・政治団体	4	0.9%
支持政党なし	237	55.4%
不明	8	1.9%



II 結果の概要

働く女性の「いま」

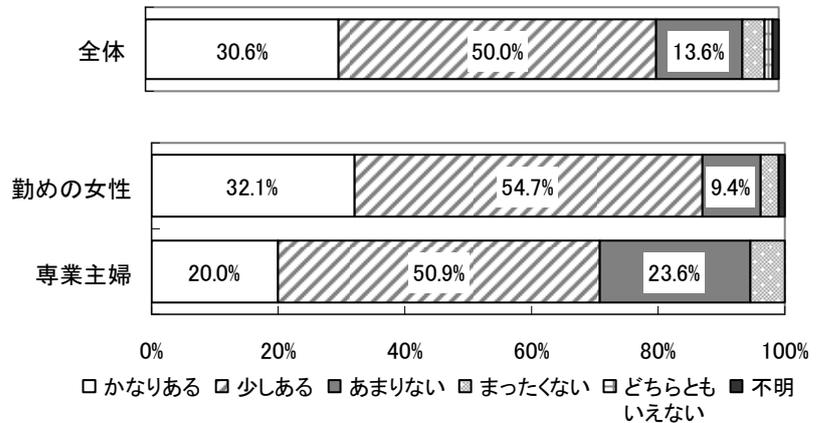
経済的な面での不安

女性「ある」79% 男性高め84%

日ごろの暮らしで、経済的な面で不安が総体で80%台に達する高率。「かなりある」だけで30%占める。

男性が総体で84%と高めで、女性はやや下回る。年代層では40～50代で90%を突破する一方で、70歳以上（以下「70代」と略記）では60%を割りこむ低さ。

「かなりある」で勤めの女性（事務・技術系従事者と現業・サービス系従事者）32% - 専業主婦20%の落差が著しい。



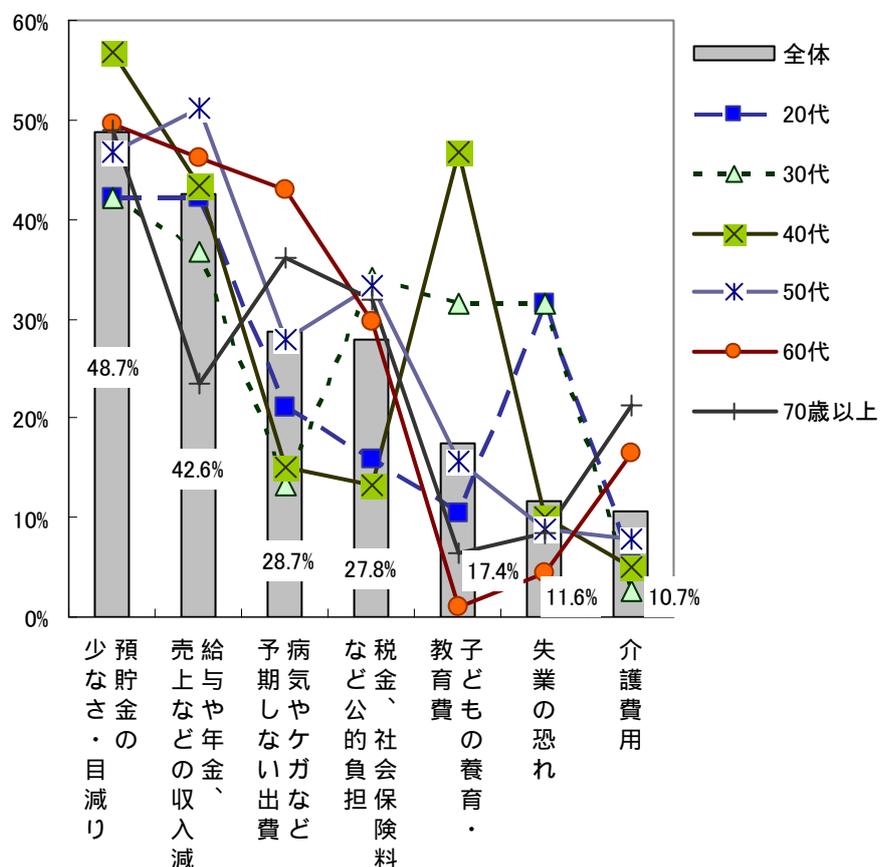
経済的不安の内容

◆「預貯金の少なさ・目減り」トップ 続く「収入減」

経済的な面での不安は「預貯金の少なさ・目減り」と「給与や年金、売上などの収入減」が上位に並び、男女にめだつた違いはみられない。

3位に「病気やケガなど予期しない出費」が挙げられ、女性が男性を10%余上回る。「税金、社会保険料など公的負担」が僅差で続く。

年代層では40代で「預貯金」が突出し「子どもの養育・教育費」もめだち2番目に入る。50代では「収入減」がトップにランク。30、50代で「公的負担」が3位に食い込む。



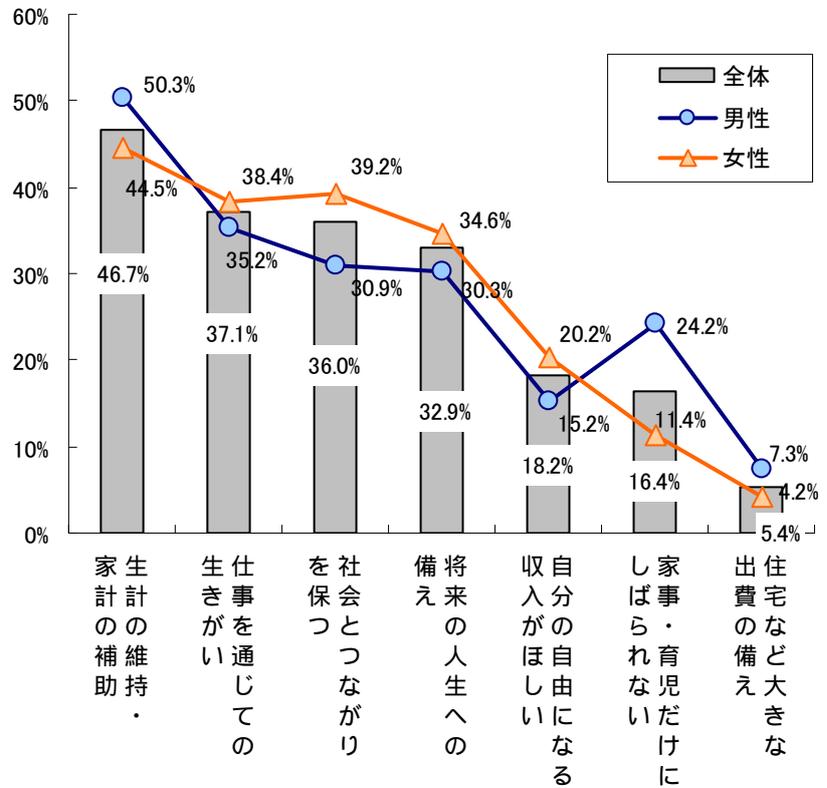
女性が「働くこと」「生きること」

働く理由 女性「社会とのつながり」「生きがい」高め

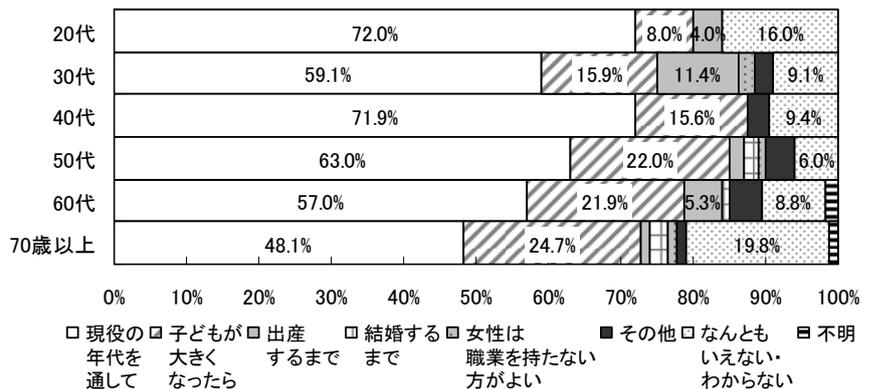
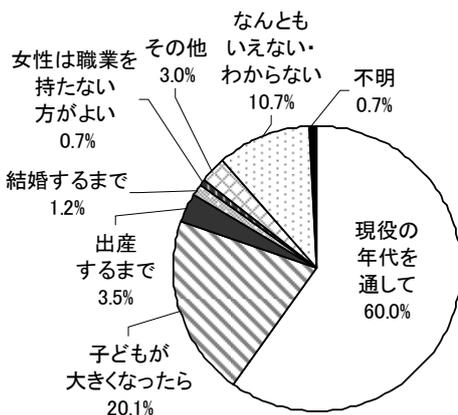
働くのに好ましいと思う理由は「生計の維持・家計への補助」が最も多く「仕事を通じての生きがい」「社会とのつながりを保つ」が上位にランクされた。

男性で「生計」が高いのに対して、女性では「生きがい」「社会」が伸びる。また「自分の自由になる収入がほしい」が高めの一方で、男性では「家事・育児だけにしばられない」が大きくリード。

若い年代層は、30代で「生計」が最も高いのに対して、20代では「社会」が突出している。



働く時期 「現役的年代を通して」が引き離す 20、40代で最も高く



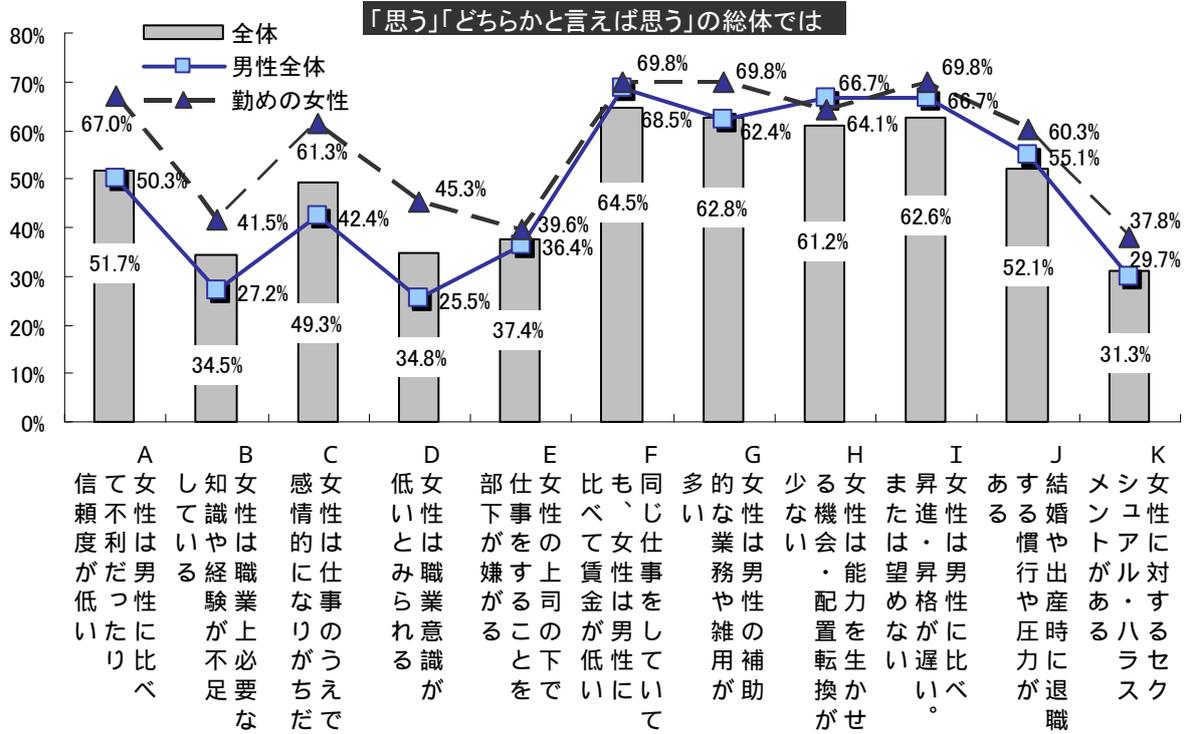
働くのにふさわしい時期は、「現役的年代を通して」が他を大きく引き離し60%。「子どもが大きくなったら」が2番目に入り「出産するまで」「結婚するまで」はごく低率。

男女に開きはみられないが、年代層では「年代を通して」が20、40代で70%台に達する。その一方で、50代以上で「子どもの成長後」が高めになる。

学歴による違いをみると「年代を通して」が短大・4大卒で70%台に伸びるが、高卒では約60%、中卒で40%に下がる。

働く女性に対する評価 - 男性との比較では

◆勤めの女性“不利な状況”の受けとめ厳しく



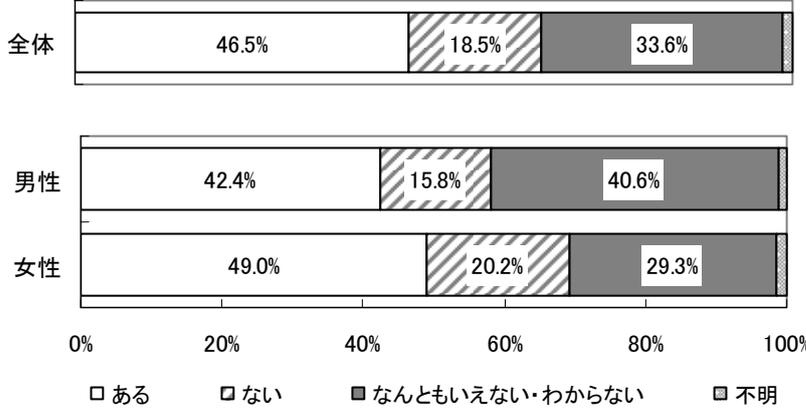
働く女性の環境や能力に関して、11項目列挙した“不利な状況”について「そう思う」が高かった上位3つは「同じ仕事でも賃金が男性より低い」をはじめ「男性の補助的な業務や雑用が多い」「男性より昇進・昇格が遅い」。

逆に低い下位3つは「セクハラがある」「女性は職業上の知識や経験が不足」「職業意識が低いとみられる」。

その中で、勤めの女性では、大半の項目で平均値を上回り、厳しい現状認識がめだつ。

生きがいがある 女性約50%で男性をリード

生きがいが「ある」が47%に対して「ない」は19%。他方「なんともいえない」が3人に1人程度占める。女性で「ある」が約半数にのぼり、年代層では50代が54%と高い。若い層で「ない」が高まり、20代では30%に近づく。



職業層では、「ある」が主婦層で55%と最も高く、事務・技術系サラリーマン、管理職層で半数をクリアする。

経済的収入に加えて「人生に大切なこと」

◆「心身の健康」が随一 「家族」「友人」上位に

「心身の健康」が飛びぬけて高く「家族の結びつき」が2位。続く上位に「友人、仲間の交友」「仕事」「趣味」がランクされた。

健康と家族は女性で高く、仕事と「社会的な職務・役割」（全体で6位）は男性で高めになっている。

年代層では、健康が40～60代で高く、家族は40代で最も高い半面、交友は最も低くなる。

勤めの女性は健康、交友で主婦層を下回り、仕事、家族で上回る傾向がみられる。

